

No. 214

境町

GIKAI GUIDEBOOK

議会だより

令和7年（2025年）11月1日発行
編集／広報編集委員会
発行／茨城県境町議会（境町391-1）

Tel 0280-81-1316 Fax 0280-87-5873
URL <http://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp>



9月定例会

決算特別委員会報告・監査委員報告 P2 / 令和6年度一般会計決算状況 P3 /
議決事項 P4 / 一般質問 P5～ / 議会活動 P7

令和7年第3回定例会

【9月4日～9月9日（6日間の会期）全議案・原案可決】

令和6年度一般会計・特別会計 歳入歳出決算を認定

決算特別委員会報告

9月4日開会初日、本会議に提案された令和6年度境町一般会計及び特別会計の決算認定については、委員10名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、9月8日に開催され、慎重に審査をした結果いずれの会計とも認定すべきものと決定し、9月9日の本会議において委員長報告のとおり全会一致をもって認定されました。



決算特別委員会
岩崎 博 委員長

令和6年度 各種会計決算一覧

区 分		歳入決算額	歳出決算額
境町一般会計		272億8,303万7,457円	264億9,603万8,633円
特別 会計	坂東市外2か町公平委員会	88万7,671円	25万1,909円
	境町住宅事業	4億5,756万1,904円	4億5,299万89円
	境町国民健康保険事業	26億1,449万2,608円	25億9,787万6,626円
	境町後期高齢者医療事業	6億2,778万6,909円	6億2,695万2,086円
	境町介護保険事業	21億3,636万4,855円	20億7,607万7,222円
合 計		331億2,013万1,404円	322億5,018万6,565円

監査委員決算審査報告

8月4日から8日まで（5日間）、令和6年度境町一般会計及び特別会計5件の審査を行い、その結果について山本監査委員より次のとおり報告がありました。

○一般会計

歳入財源は、デジタル田園都市国家構想交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、地方創生臨時交付金、社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金等の財源を活用したことにより、施策・事業を効果的に実施した結果であることが認められる。

歳出については、これまでも実施しているように、国・県補助金、基金等の財源を組み合わせ、極力町の負担を軽減する取組が何え、順調に執行され、魅力あふれる町づくりのための事業を展開して行財政運営に努められたことが確認できる。

○特別会計

独立採算制の原則に則って財源確保のための徴収率向上に努められた。

国民健康保険事業については、国保加入者数、国保税収入が減となったものの、保険者努力支援金等の獲得により、順調に業務が遂行出来ていることを確認できる。

介護保険事業については、地域支援事業交付金等を活用した介護予防事業等を実施して、給付費の削減に努め基金の積立を行うなど、順調に業務が遂行出来ていることが確認できる。

令和6年度一般会計決算状況

歳 入	予算現額	収入済額
1. 町税	36億4,070万2,000円	37億6,365万4,424円
2. 地方贈与税	1億3,350万円	1億3,227万6,000円
3. 利子割交付金	130万円	127万2,000円
4. 配当割交付金	1,500万円	2,582万8,000円
5. 株式等譲渡所得割交付金	1,600万円	3,607万3,000円
6. 法人事業税交付金	6,000万円	7,397万5,000円
7. 地方消費税交付金	6億976万3,000円	6億3,856万5,000円
8. ゴルフ場利用税交付金	300万円	279万7,480円
9. 環境性能割交付金	1,000万円	1,547万2,000円
10. 地方特例交付金	1億4,364万2,000円	1億5,504万9,000円
11. 地方交付税	21億1,375万1,000円	21億8,430万7,000円
12. 交通安全対策特別交付金	300万円	236万7,000円
13. 分担金及び負担金	1億6,503万8,000円	1億5,463万782円
14. 使用料及び手数料	2,733万7,000円	2,712万3,573円
15. 国庫支出金	54億274万7,000円	36億5,596万8,935円
16. 県支出金	9億3,498万7,000円	8億9,761万3,772円
17. 財産収入	854万8,000円	845万7,625円
18. 寄付金	62億1,437万4,000円	61億7,852万9,917円
19. 繰入金	69億6,457万3,000円	69億4,203万2,949円
20. 繰越金	12億519万2,000円	12億519万1,564円
21. 諸収入	1億9,770万9,000円	1億9,745万6,436円
22. 町債	23億9,089万6,000円	9億8,439万6,000円
歳入合計	302億6,105万9,000円	272億8,303万7,457円

歳 出	予算現額	支出済額
1. 議会費	1億1,066万4,000円	1億430万3,488円
2. 総務費	125億6,593万6,000円	97億6,759万3,281円
3. 民生費	44億747万5,000円	41億6,912万8,573円
4. 衛生費	8億2,943万3,000円	7億8,908万7,876円
5. 労働費	2,430万6,000円	2,281万55円
6. 農林水産業費	4億3,816万9,000円	3億8,470万3,668円
7. 商工費	4億5,675万8,000円	4億2,669万3,027円
8. 土木費	16億6,810万4,000円	12億5,590万6,375円
9. 消防費	4億5,501万2,000円	3億6,952万6,154円
10. 教育費	12億3,493万7,000円	11億7,493万1,550円
11. 災害復旧費	10,000円	0円
12. 公債費	9億824万9,000円	9億696万6,779円
13. 諸支出金	71億5,530万7,000円	71億2,438万7,807円
14. 予備費	669万9,000円	0円
歳出合計	302億6,105万9,000円	264億9,603万8,633円

補正予算関係

令和 7 年度境町各種会計補正予算

区 分		予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(承認第14号)		166億1,117万円	4,000万円	166億5,117万円
一般会計(議案第56号)		166億5,117万円	48億105万円	214億5,222万円
特別 会計	住宅事業(議案第57号)	5億8,124万円	476万円	5億8,600万円
	国民健康保険事業(議案第58号)	28億3,347万円	662万円	28億4,009万円
	介護保険事業(議案第59号)	19億7,883万円	6,233万円	20億4,116万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日 議決結果
報告 第 4 号	令和 6 年度境町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—
承認 第13号	専決処分の承認を求めることについて (事業契約の締結について)	R 7.9.4 即日原案承認
認定 第 3 号	令和 6 年度境町一般会計歳入歳出決算の認定について	R 7.9.9 原案認定
認定 第 4 号	令和 6 年度坂東市外 2 か町公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定について	R 7.9.9 原案認定
認定 第 5 号	令和 6 年度境町住宅事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R 7.9.9 原案認定
認定 第 6 号	令和 6 年度境町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R 7.9.9 原案認定
認定 第 7 号	令和 6 年度境町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R 7.9.9 原案認定
認定 第 8 号	令和 6 年度境町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R 7.9.9 原案認定
議案 第54号	境町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する 条例案について	R 7.9.9 原案可決
議案 第55号	境町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び境町職員の育児休業等に関する 条例の一部を改正する条例案について	R 7.9.9 原案可決
議案 第60号	財産の取得について (境町大字上小橋地内 2 筆)	R 7.9.4 即日原案可決
議案 第61号	財産の取得について (ヴォーンR2B (キャンピングカー))	R 7.9.4 即日原案可決
議案 第62号	事業変更契約の締結について (第 8 期境地区定住促進住宅整備事業)	R 7.9.4 即日原案可決
同意 第14号	境町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	R 7.9.4 即日原案同意
陳情 第 1 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見 書採択を求める陳情	R 7.9.9 採決
発議 第 2 号	境町議会決算特別委員会の設置について	R 7.9.4 即日原案可決
発委 第 1 号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意 見書案	R 7.9.9 即日原案可決

一般質問



議席12番
齊藤 政雄 議員

染谷川改修事業について

問 下小橋遊水対策組合（水田埋立に関する請願書）

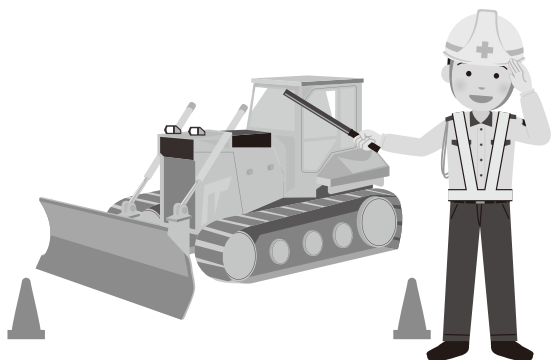
答 下小橋水田遊水対策組合は、陽光台南側町道から下小橋・染谷地内の上の橋まで、染谷川に沿った土地の地権者の方々により、昭和62年11月に設立され、平成元年2月及び平成16年4月には、町と組合が協定を締結し、町から地権者及び組合に対し、「遊水池の機能」を果たしている地域への補償として、令和6年度には、約4.5haを対象に補償金をお支払いしております。

現在では、後継者難などから、耕作者や耕作地が減り、今後さらに区域の維持管理が難しくなると見込まれます。

この区域の染谷川の改修につきましては、令和10年度までを目途に、茨城県境工事事務所による国道354号道路改修工事が進められ、これによる整備が完了し、染谷川改修事業も完了することになります。

組合設立から既に40年近い年月が経過しており、設立当初とは、組合をめぐる環境は大きく変化していると考えられます。このため、改めて町と組合との協議の場を設け、組合員のお考えをお聞きし、本町として、どのような取組を行えるのか検討してまいりたいと考えております。

（町長・建設農政部長）



議席11番
木村 信一 議員

境町モデル事業の今後について

問 指定管理委託者との契約は、どのような状態か。

答 境町モデルで整備した施設については、指定管理者を選定して基本協定を締結したうえで、施設の管理運営を行うことを原則としております。

指定期間が終了した後は、当該事業者と協議し、家賃を収めていただくとともに、施設の管理運営をお願いして参りたいと考えております。

問 施設の維持管理は、どのように考えているのか。

答 施設の維持管理につきましては、管理施設の維持管理に要する費用は、原則として、当該事業者へ負担していただいております。

当該事業者の責任によらない理由により、維持管理に想定外の費用を要する場合は、町と当該事業者にて、協議することとしております。

また、改修費用に備えましては、家賃等収入額の一部を、境町公共施設整備基金へ積み立てております。

町といたしましては、指定管理者との連携を強化し、利用者の利便性の向上を図りながら、将来にわたり持続可能な境町モデルを継続させてまいります。

（町長・企画部長）

農家支援の1つとして米の買い取りについて

問 令和の米騒動の中、価格の設定はどのように考えているのか。

答 今年度におきましても、不安定な市場取引価格や農業資材の高騰のなか、持続可能な農業経営となるよう支援するため、コシヒカリの一等米の買取を実施したいと考えております。買取価格は、茨城むつみ農業協同組合と同額の60キロ当たり、3万円とさせていただきます。

（町長・建設農政部参事）



議席3番
枝 史子 議員

給食センターについて

問 かねてから老朽化が問題視されているが、建て替えは待ったなしの状況だと考える。具体的な着工の目途は立っているのか。町の見解を問う。

答 給食センターの老朽化については、懸案事項としてずっと考え続けており、待ったなしの状況であることも把握しております。これまで、建て替え財源の目途が立たない中でも、エアコンの設置できない調理室の環境改善のために、スポットクーラーを設置したり、また、調理設備の修理や買い替えをする等、この10年間でおよそ1億円をかけて、可能な限りの対策をしてまいりました。

しかし、ようやく町の財政も改善されてきたことから、給食センター建て替えについても具体的な話を進めております。

給食センターの建て替えには、補助金を活用して実施したいと考えております。あわせて、民間と協働することによって支出を減らすことはできないか等を検討しております。また、用地も用意していることから、早急に着工できるよう調整を図ってまいります。

なお、現状、調理設備が老朽化していることから、故障により給食の提供がストップしてしまうリスクも想定し、緊急時における近隣市町の給食センターへの協力要請も指示いたしました。

また、「給食センター建て替え委員会」を今まで設置していなかったことから、今後、そのような委員会を設置し、さまざまなご意見を取り入れていくべきだと考えております。

子どもたちに安全な給食を提供できることを最優先に、なおかつ、なるべく維持費のかからない経費削減の方法を検討しながら、給食センターの建て替えについては、最短でできるよう対応してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

(町長)



議席10番
田山 文雄 議員

平和教育の充実について

問 戦後80年の節目において平和教育の充実が必要であると思うが、当町においてどのような取り組みをしているのか伺いたい。

答 学習指導要領にもとづき町内の小中学校では、国語や社会、道徳などの授業で、発達段階に応じた平和教育を実施している。具体的には、戦争に関する文学作品の学習、戦争と人々の暮らしについて考える授業、さらには戦争体験者の遺族から話を聞く機会などを設けている。

今後も戦争の悲惨さや平和の尊さを理解し、平和な社会の実現について主体的に考えることができるよう、平和教育の充実に努めていきたい。

(町長・教育次長)

生成A I の活用について

問 昨年の6月定例会においても自治体の業務効率化・行政サービスの質の向上に向けた生成A I の活用についての質問を行ったが、その後どのようなになっているのか、今後の取組について伺いたい。

答 現在、起工式、竣工式等の式典挨拶や海外姉妹都市交流での挨拶文の作成、職員採用ポスターの作成などに生成A I を活用している。あわせて、法令の適用関係などを整理した資料の作成にも用いるなど、より多くの用途に活用している。

今後、より効果的に生成A I を活用するため、関連の補正予算案を提出している。

今後の展望として、A I を有効に活用するためには、まず職員全体、特に幹部職員への研修が不可欠であり、A I 教育が進んでいるエストニアを議員と共に視察し、町の未来への投資として、子どもたちへのデジタル教育を強化していきたい。

(町長・総務部長)

人事案件

○境町教育委員会の委員の任命につき、議会の同意を求められ、全会一致で同意されました。



境町大字若林
中村 修氏

○人権擁護委員の推薦について議会の意見を求められ、次の2名の方が全会一致で適任と認められました



境町大字内門
渡邊 弘秋氏



境町大字塚崎
齊藤 恭子氏

議会活動

各種、拠点施設起工式

8月7日、(仮称)さかいのコメ高付加価値化促進拠点施設起工式が行われました。

この施設は、近年需要が高まっている米粉等の加工製品を研究、開発、生産する施設になります。

町産のコメを活用し、新たな「さかいの食文化」を生み出し、コメ農業事業者のさらなる所得向上、後継者問題の解決や耕作放棄地の増加に歯止めを期待されます。

また、同日、(仮称)さかいの畜産業高付加価値化促進拠点施設起工式が行われました。

この施設は、町の畜産品である食用牛・豚を特産品として開発、生産、出荷する施設となります。

「新たな特産品」として高付加価値を実現することが可能な施設となり、農畜産業全体の所得向上に期待されます。

9月11日には、(仮称)境町農産物六次化・SDGs推進拠点施設起工式が行われました。

この施設は、これまで商品化されずに圃場で廃棄されてきた境町産の野菜などを、高齢者や介護が必要な人のために栄養価や食べやすさ・美味しさに配慮した食事である「スマイルケア食」として加工し、高付加価値化する施設になります。

境町産の野菜そのものの知名度向上や需要喚起にも大きく寄与することが期待されます。

今後も、地域経済の安定化及び活性化を目指し町と協力してまいります。



「25年住むともらえる戸建住宅」起工式

9月11日、第8期境地区定住促進住宅起工式が行われました。

町では移住定住促進のため、PFIを活用した定住促進住宅の整備が進められてきました。これまで建設されたマンションタイプの住宅、25年住むともらえる戸建住宅とともに全国各地から多くの応募をいただき全棟満室、大好評をいただいております。

今後も、快適な住環境を提供するとともに、さらなる定住人口の増加や地域の活性化を目指し町と協力してまいります。



※イメージ図

姉妹都市ハワイ州ホノルル市、姉妹都市フィリピン共和国マリキナ市、エストニア共和国元首相来町

9月12日、姉妹都市であるハワイ州ホノルル市から、ハワイ州議会上院議員グレン・ワカイ氏、ホノルル市議会議員タイラー・ドスサントスタム氏外5名、エストニア共和国元首相ターヴィー・ロイヴァスオーブテック会長、



姉妹都市フィリピン共和国マリキナ市から、マリキナ市議会議員ジョセフ・バンゾン氏、マリキナ市立大学副学長ジャケリン・カライカイ氏、同元学長ホセリート・リベラ氏外3名の

方が、翌13日に行われる利根川大花火大会に来賓としてご出席いただきました。



来町にあたり、12日には町長表敬訪問や学校訪問、町内視察していただき、町の取組や地域の魅力をご覧いただき、国際的な交流を深めました。



「IBARAKI SAKAI Urban Sports Fes」記者会

9月22日、恵比寿ガーデンルームにて、11月21日から境町アーバンスポーツパークなどを会場に開催される、世界初の「IBARAKI SAKAI Urban Sports Fes」(World SkateとFISEが同時に世界大会)の記者会見が行われました。今後も、「スポーツを核としたまちづくり」を推進し、地域活性化を目指し町と協力してまいります。



議会日誌

【8月】

- 7日 施設起工式(2件)
- 12日 議会運営委員会

【9月】

- 1日 議会運営委員会
- 2日 決算説明会
- 4日 全員協議会
- 第3回定例会(開会)
- 広報編集委員会
- 5日 一般質問
- 8日 決算特別委員会
- 9日 常任委員会
- 定例会(閉会)

- 11日 施設起工式(2件)
- 12日 海外来賓表敬訪問
- 13日 海外来賓表敬訪問
- 17日 竣工式(企業社屋)
- 18日 大臣への表敬訪問
- 22日 記者会見
- 28日 議会全体研修

※その他、自治体議会議員行政視察、各種団体の会議等、代表者出席あります。

編集発行：茨城県境町議会広報編集委員会

委員長 青木 輝明 副委員長 染谷 直人 委員 岩崎 博 委員 間瀬 宏宣